

新たに確保した財源については、近年、海外からの観光客の急増などに伴い、新たな行政需要への対応を迫られていることに加え、交流人口を拡大し、地域経済の活性化を図るため、これまで必要としてきたもののほか、さらなる観光施策の充実に充てていきたい。

宿泊税の導入を検討している北海道との協議については、まずは、本市において考え方や方向性などを整理し、制度設計のための手続きを進める。

総務大臣同意には、二重課税による過重な納税者負担の考え方や課税方法の整理を求められることが想定されることから、今後、北海道と協議を行う必要があると考えており、他都市などとも情報交換や協議を行い、丁寧に進める。

○千代台公園野球場改修事業費

千代台公園野球場は、平成6年のリニューアルから20年以上が経過し老朽化による不具合が生じていることから、今年度、最終発行期限である合併特例債を活用し、年度内に終了可能な工事を実施することとし、具体的には、スコアボード設備更新のほか、メインスタンドの防水・観客席交換、メインスタンドトイレの洋式化、内野グラウンドの土の入れ替え、パーフェンス改修などを予定している。

北海道日本ハムファイターズから要望があった内野グラウンドの土の入れ替えのほか、ラバーフェンスの硬さなど、改修にあたって助言をいただきたいがら進めている。

内野グラウンドの土については、市内の他の野球場へ搬出し、再利用を検討する。

委員間の協議

議案第1号

○国際化施策推進費増

今後、在住外国人の増加が見込まれる中、相談窓口の強化を図っていくことは、必要な取り組みである。

市内の在住外国人だけを対象としておらず、南北海道定住自立圏の事業として、圏域の市、町の在住外国人も利用できることが確認された。

現在、窓口への相談件数が少ない状況から、今後、ホームページや交流会等を活用し、積極的なPRに努めていただきたい。

在住外国人の雇用等に関して、様々な課題が考えられるので、事業を進めるにあたり、できるだけ細かく慎重に取り組んでほしい。

○観光振興財源検討調査費

観光目的税の制度化にあたっては、外部委員会において、観光施策の展開などを示し、意見をいただきたいながら、慎重に検討されていくことが確認できた。

観光目的税が、本市のさらなる観光振興に期待できる。

宿泊事業者の負担や、北海道との連携等についてもしっかりと検討いただきたい。

○千代台公園野球場改修事業費

施設の老朽化により、不具合が生じている状況にあることから、市民利用のために必要な改修である。

今後、北海道日本ハムファイターズの公式戦開催につながるよう、誘致にも引き続き取り組んでほしい。

入れ替えをする内野グラウンドの土を、市内の他の野球場へ搬出し、再利用を検討する。

用を検討するなど、他の野球場においても、市民が野球をしやすい環境の整備を意識し、取り組まれている。などの意見があり賛成。

経済建設分科会

議案7件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 令和元年度函館市一般会計補正予算（経済建設分科会関係部分）

○コンブ漁業作業省力化研究事業費
・事業目的や実施内容および期待される効果

○湯の川冬のイベント開催負担金
・施策を必要とする背景と事業の内
容および効果

議案第2号 令和元年度函館市港湾事業特別会計補正予算

○若松地区旅客ターミナル整備
・事業内容と推進のスケジュールおよび財源

主な理事者の説明

議案第1号

○コンブ漁業作業省力化研究事業費

コンブ漁業については、漁業者の努力によって機械化など効率化が図られてきたところであるが、陸揚後の乾燥から出荷に至るまでの労働負担は依然として大きく、人手の確保も厳しい状況にある。

また、コンブ漁業者は高齢化や後継者不足で減少傾向が続いており、陸揚後の労働負担が大きいことも減少の要因のひとつであると考えている。

本事業はトヨタ自動車や自動車の業務で培った生産管理方法や作業・業務の

改善ノウハウをコンブ養殖漁業の陸揚後の生産現場に活用できないかを調査するものであり、生産性の向上や労働環境にゆとりができることによるコンブ漁業の担い手確保に繋がっていただくと考えている。

○湯の川冬のイベント開催負担金

本市を訪れる観光客の傾向として、夏季に比べ冬季は半減する状況が続いており、冬季観光の底上げが大きな課題となっていることに加え、冬季のイルミネーションイベントについては、西部地区、函館駅前、五稜郭エリアにおいて開催している一方で、湯の川エリアにはなく、「フェスティバルタウン」の形成を図るうえで冬季のイベント創出が求められているところである。

開催内容としては、西部地区や五稜郭など他のイルミネーションイベントと同じ期間である12月から2月末までの3か月間、湯の川温泉の足湯や温泉街のメイン通りの中環状通りにおいて、イルミネーションやライトアップによる光の演出を行うほか、湯の川のみちを市民や観光客が周遊しながら楽しめるような企画を想定している。

2月に湯の川のみちを舞台としたイベントを開催することにより、「はこだてFODフェスタ」や民間による「函館海上花火」など、ほぼ毎週末イベントが開催されることになり、フェスティバルタウンの推進と冬季観光の底上げに繋がるものと期待している。

議案第2号

○若松地区旅客ターミナル整備

事業内容としては、若松ふ頭に12万総トン級のクルーズ船が寄港すること